

第8回 建て替え準備委員会資料

渋谷区小中一貫教育校（猿楽小学校・鉢山中学校）建築工事

1. 開会

- ・ 委員及び事務局の紹介
- ・ 渋谷区小中一貫教育校（猿楽小学校・鉢山中学校）建て替え準備委員会設置要綱の改正について

2. 議題

- (1) 建て替え準備委員会のスケジュール
- (2) 基本設計の中間報告
 - A. 基本方針・コンセプト
 - B. ゾーニング・セキュリティ計画
 - C. 基本計画段階における委員会意見への対応

	日程/時期（仮）	議 題（仮）
第1回	10/22（火） 10:00～11:30	・ご挨拶、委員、事務局の紹介 ・建て替え準備委員会の設置及び会議の運営について ・渋谷区『新しい学校づくり』整備方針の概要について ・渋谷区小中一貫教育校（猿楽小学校・鉢山中学校）建て替えの概要 ・既存施設と法的規制について ・次回の主な議題について
第2回	12/13（金） 16:30～18:00	・渋谷本町学園視察について ・第1回建て替え準備委員会の振り返り ・必要諸室について
第3回	2/7（金） 16:30～18:00	・学校環境の整備方針 ・ラーニング・コモンズの使い方 ・地域開放の考え方
第4回	5/20（火） 17:00～18:30	・建物配置について ・学校施設の機能ゾーニング
第5回	7/3（木） 17:00～18:30	・基本計画（素案）の説明 ・アンケートの実施について
第6回	9/26（金） 17:00～18:30	・アンケートの結果について ・基本計画（案）の説明
基本計画 説明会	12/23（火） 19:00～20:00	・基本計画の説明
第7回	2/6（金） 17:00～18:00	・基本計画説明会の報告 ・基本設計者決定の報告
第8回	9/3（木） 17:00～18:30	・基本設計報告（中間）
第9回	12月頃（予定）	・基本設計報告

設計スケジュール

建て替え準備委員会にて出た“計画に関わる各ご質問やご意見”は、事務局側で整理し、各フェーズで適切に対応していきます。



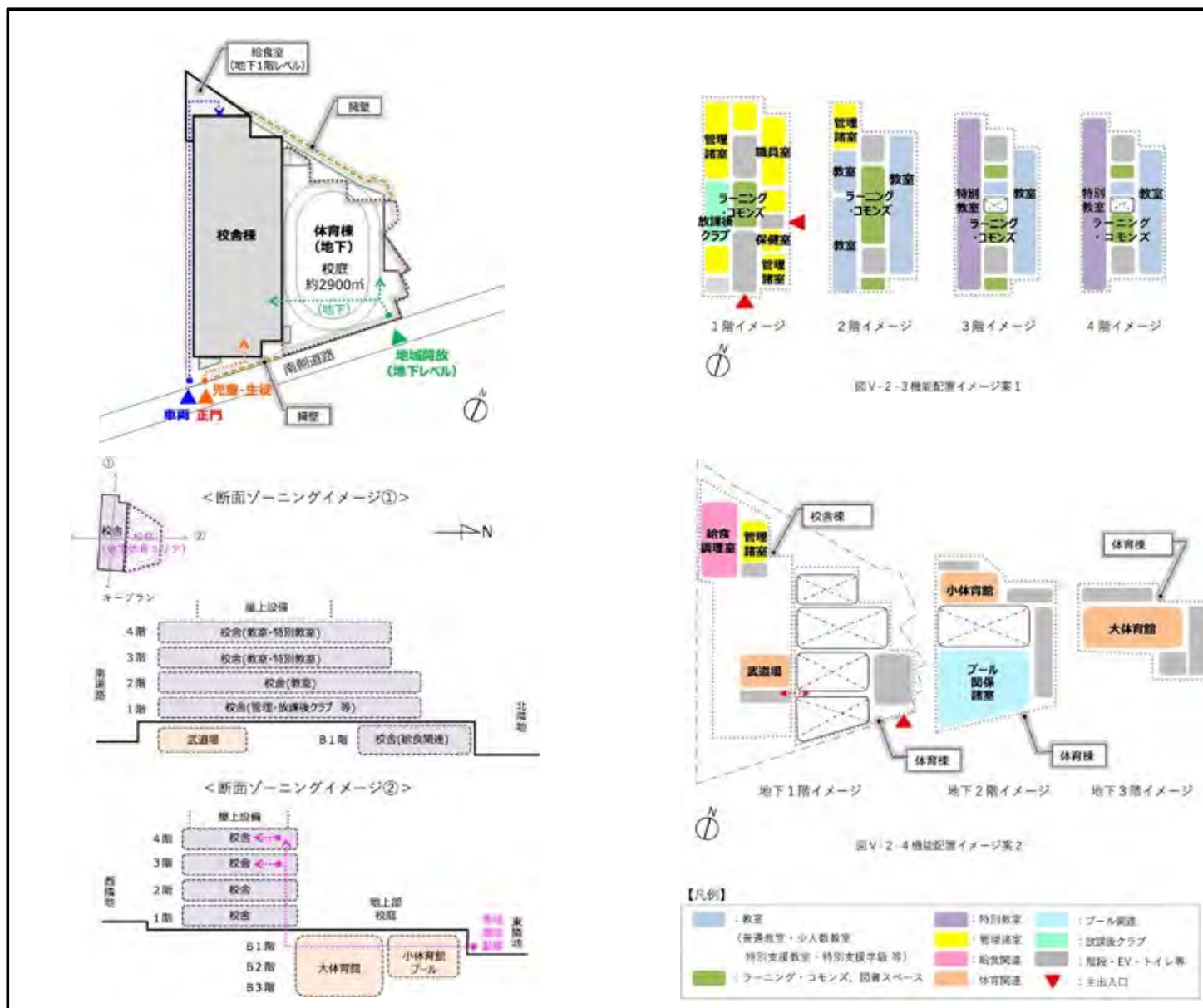
※建て替えスケジュールは現時点での想定であり、今後の詳細検討により前後する場合があります。

A. 基本方針・コンセプト

B. ゾーニング・セキュリティ計画

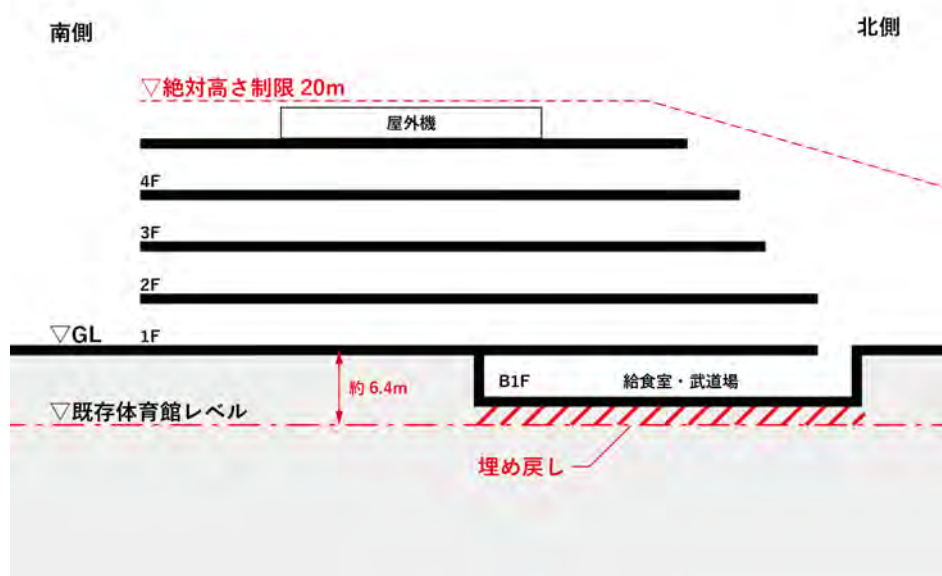
C. 基本計画段階における委員会意見への対応

- 基本計画案での配置計画・ゾーニング計画 -

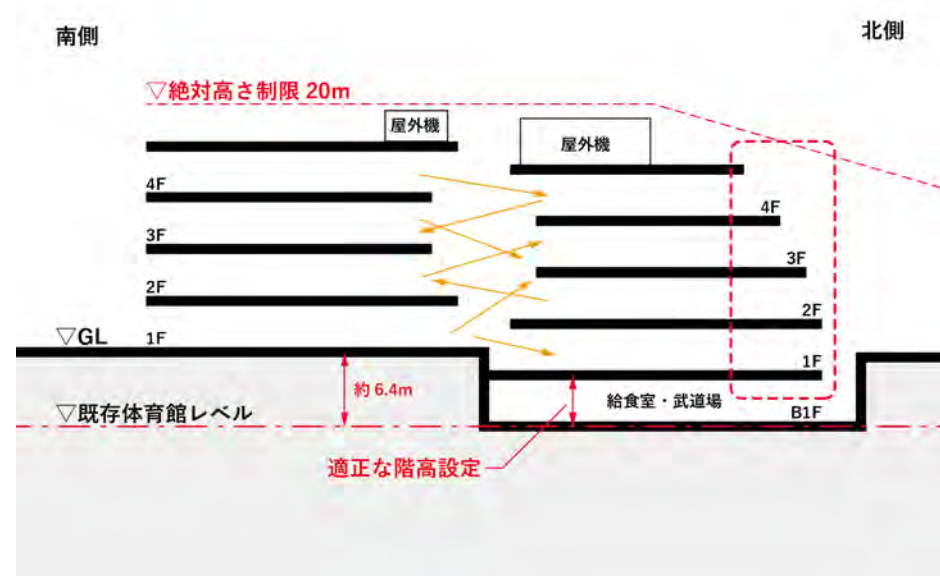


- 既存地盤レベルを活かした合理的ボリューム・吹抜けによる空間的效果-

基本計画案



新提案



校庭側から見た断面イメージ図

【基本計画案】

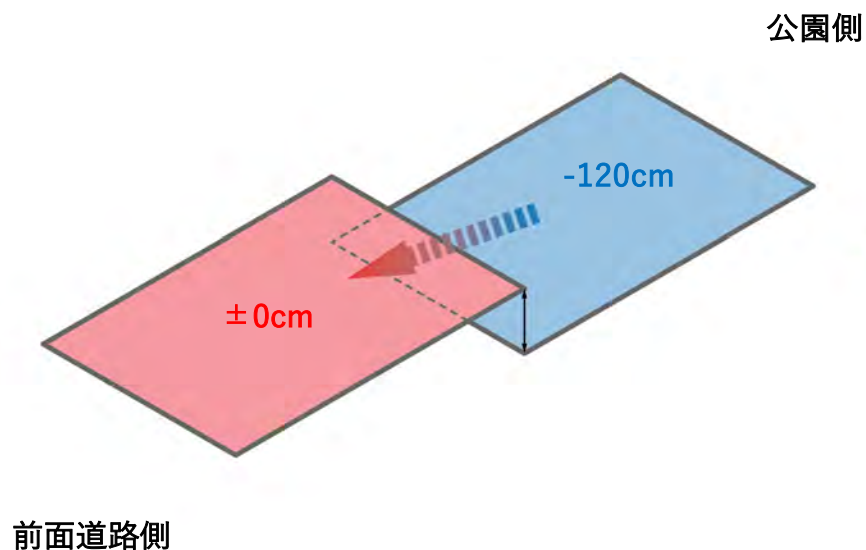
- ①地下の既存体育館の一部に土を埋め戻して、給食室を配置する計画としていました。

【新提案】

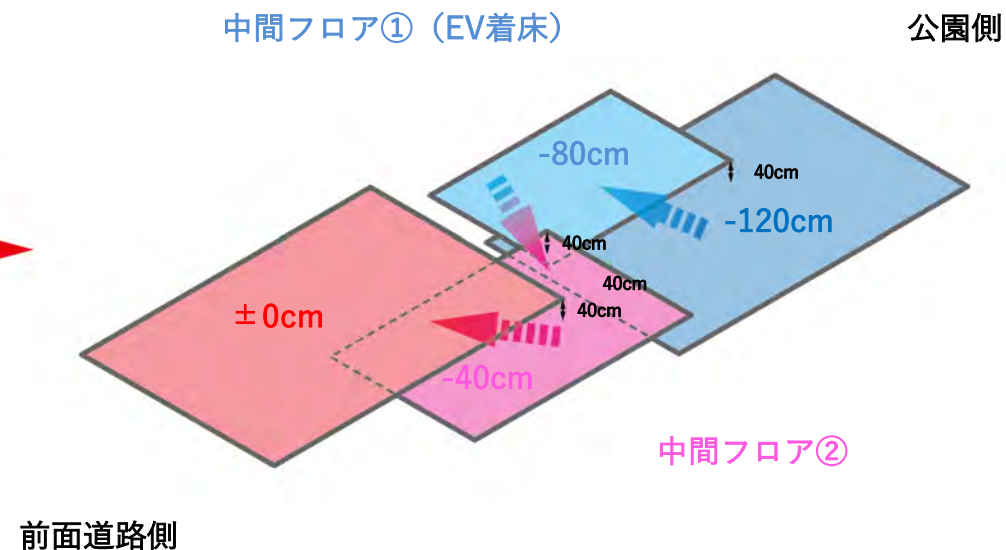
- ①地下の既存体育館レベルをそのまま活用することで、土の埋め戻し量が減り、工期・コストともに有利になります。
- ②地下1階の床を既存体育館の深さまで下げ、各階の適切な高さ設定を行うことで、建物北側の高さが抑えられます。
- ③南北の高さの差により、視線が通りやすくなり、異学年交流の機会を創出します。

- 各階フロアの構成 -

フロアが南北2つのみの場合



中間フロアを設置する場合



【フロアが南北2つのみの場合】

- ・フロア間の高低差が 120cm となり、スロープを設置しても急な角度の傾斜となります。

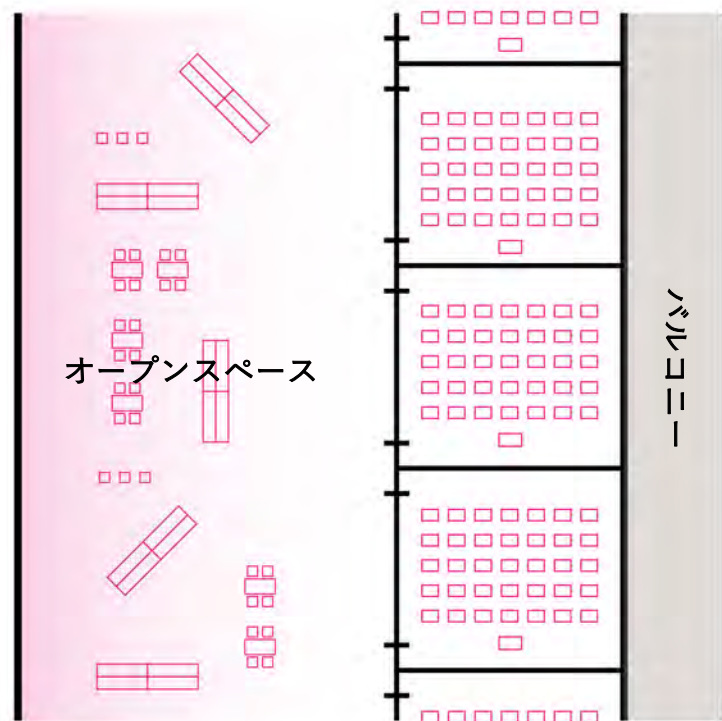
【中間フロアを設置する場合】

- ・同じ階の中で、中間フロア（ピンク・水色）を設置することで、フロア同士を緩やかな傾斜で繋いで移動することができます。

「教室」という枠組みからの解放

- 子供たちが真に主体性を育むための空間デザインの手法 -

① 従来の学校の考え方

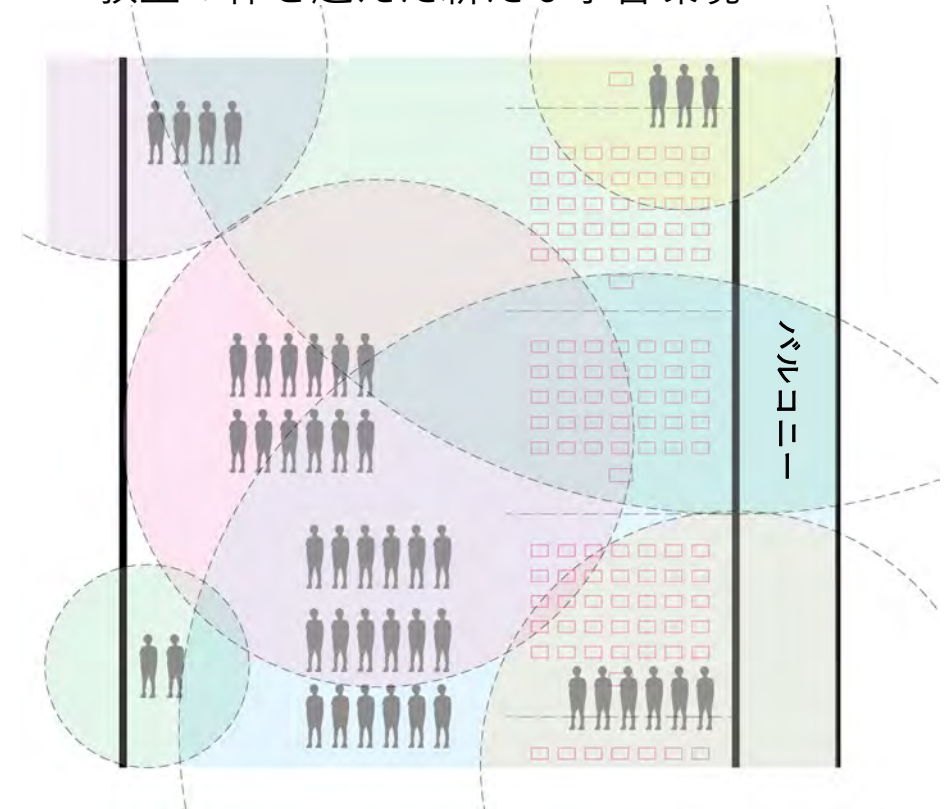


【従来の学校の考え方】

- ・ 広大なオープンスペースと教室が壁や扉により、明確に分かれています。

② ラーニング・コモンズ

- 教室の枠を超えた新たな学習環境 -



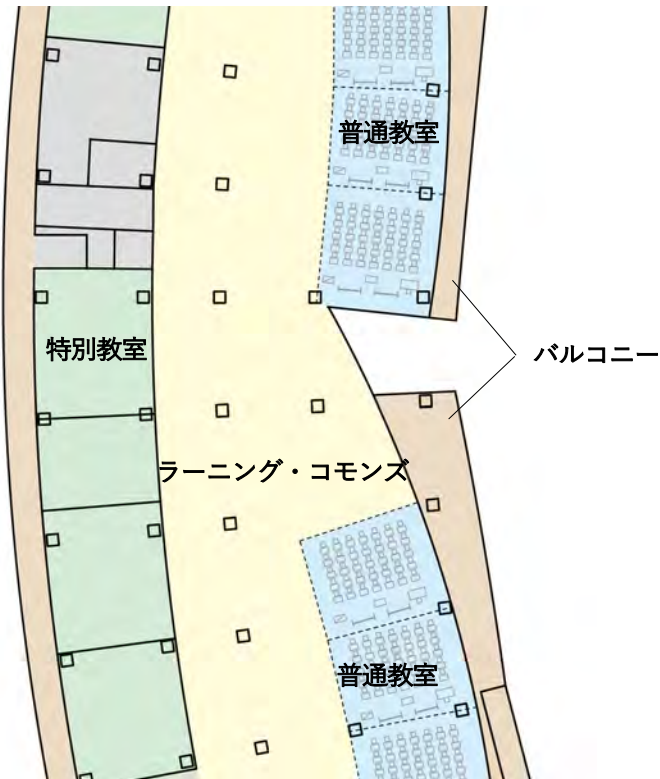
【ラーニング・コモンズ - 教室の枠を超えた新たな学習環境】

- ・ ラーニング・コモンズと教室の間の壁や扉をなくすことで、一斉授業への対応だけではなく、少人数～大人数まで集まることができる多様な広さの学びの場を設けます。

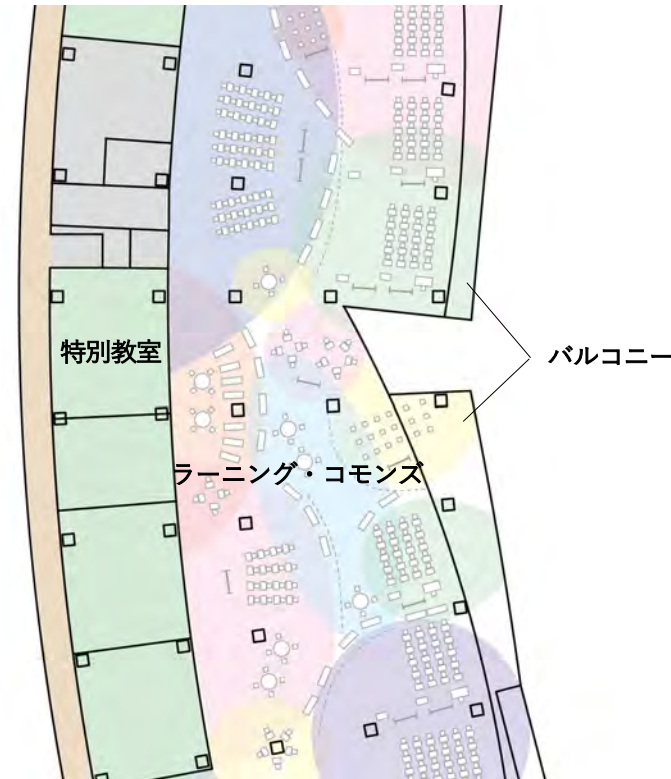
「教室」という枠組みからの解放

-実際の運用イメージ-

① 通常授業時



② 開放時の運用イメージ



【通常授業時】

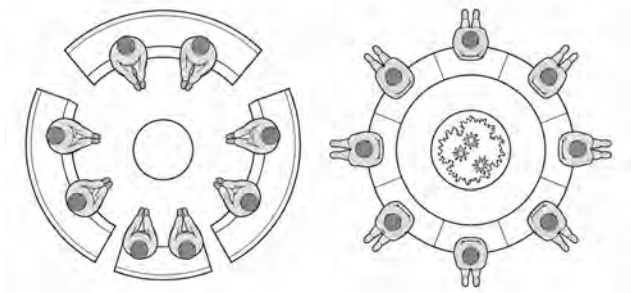
- ・普通教室とラーニング・コモンズ間の間仕切りと、教室間の間仕切りを締め切ると、従来通りの授業形態も可能です。

【開放時の運用イメージ】

- ・普通教室の間仕切りを全て開放することで、空間を一体的に利用できます。
- ・可動式の家具やフロア間の段差により、大小様々な空間が生みだされ、この空間を活用したグループワークやプレゼンテーション、個別学習など、主体的な学びを支える学習環境を形成することができます。

- フロアレベルの差を活かした教育的効果 -

① 集合的学び・離散的学び



ソシオペタル
(求心的な配置)

ソシオフィーガル
(遠心的な配置)

サンキタ広場（兵庫）



提供：ALTEMY

② 身体的学び



カンポ広場（シエナ）



<https://www.expedia.co.jp/Piazza-Del-Campo-Siena-City-Centre.d6077950.Place-To-Visit>



スペイン広場（ローマ）

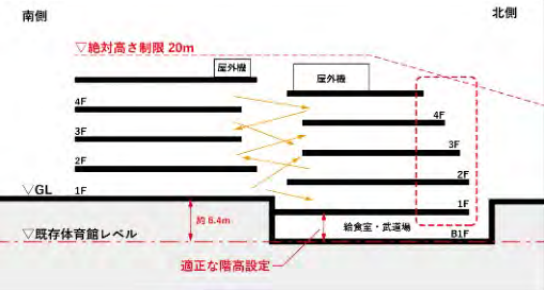
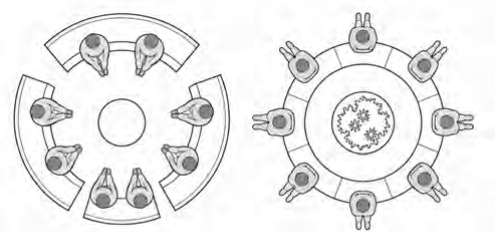


<https://www.cnn.co.jp/travel/35141100.html>



<https://www.afar.com/places/spanish-steps-rome>

-本提案による教育的効果のまとめ-

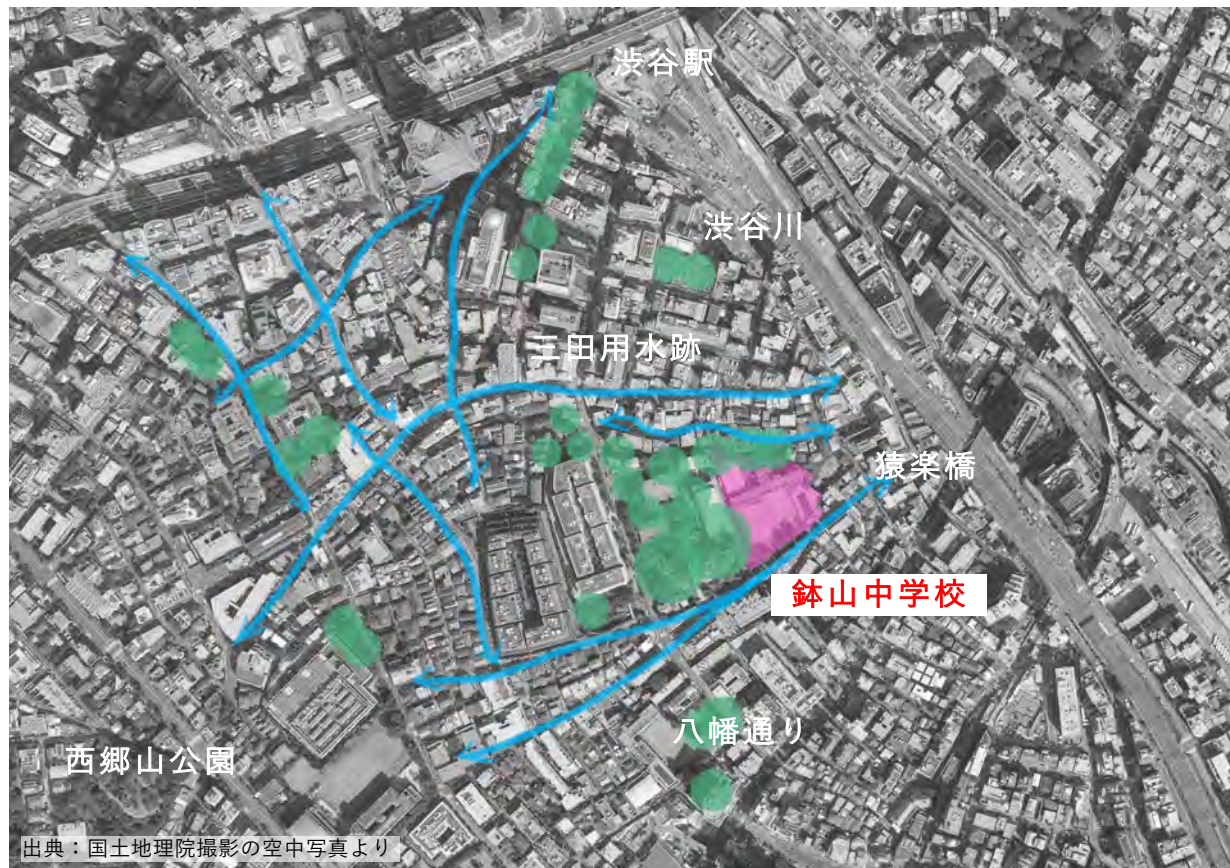
	現象	教育的効果
	・<u>段差空間</u>を活用した学びの場 ・フロア間の<u>視線の交差</u>	・フロアをまたいだ<u>異学年交流を促す</u> ・上級生の活動に触れ、<u>学ぶことへの関心や将来への見通しをもつきっかけとなる</u> ・教え合いや助け合いを通じて、<u>自分の考えや理解を振り返り、深めることにつながる</u>
	・教室-ラタニング・コモンズ間の仕切りを開放し、<u>可変性の高い空間</u>を創出 ・<u>通常授業以外のさまざまな活動</u>の展開	・他のグループの活動に触れ、<u>相互に学び合うきっかけが生まれる</u> ・他者の考え方に触れることで、<u>自らの考えを深める機会となる</u> ・多様な考えを取り入れ、知識を関連付けて<u>理解を深める学びにつながる</u>
	・「<u>個</u>」の学び、「<u>集団</u>」の学びなど様々な人数に対応した学びの場づくり ・<u>集中の場と発散の場の共存</u> ・<u>眺望</u>(全体を見渡せる場)と<u>隠れ場</u>を生む	・他者との適切な関わり方を学び、<u>多様な考えを尊重する姿勢</u>を育む ・対話や協働を通じて、自分の考えを広げ、<u>深める学び</u>を促す ・<u>一人ひとりの特性や学習状況</u>に応じた学びを支える。
	・座る、立つ、動くなど、<u>学習内容に応じた多様な姿勢</u>に対応 ・<u>身体を動かしながら考える学習活動</u>に対応 ・<u>空間そのものを活用した多様な授業展開</u>を可能にする	・自分に合った姿勢や場所を選び、<u>学習に取り組むやすくなる</u> ・<u>学習活動に応じて身体を動かす機会を確保する</u> ・学習の目的に応じて、<u>自ら学ぶ環境を選択する姿勢</u>を育む

A. 基本方針・コンセプト

B. ゾーニング・セキュリティ計画

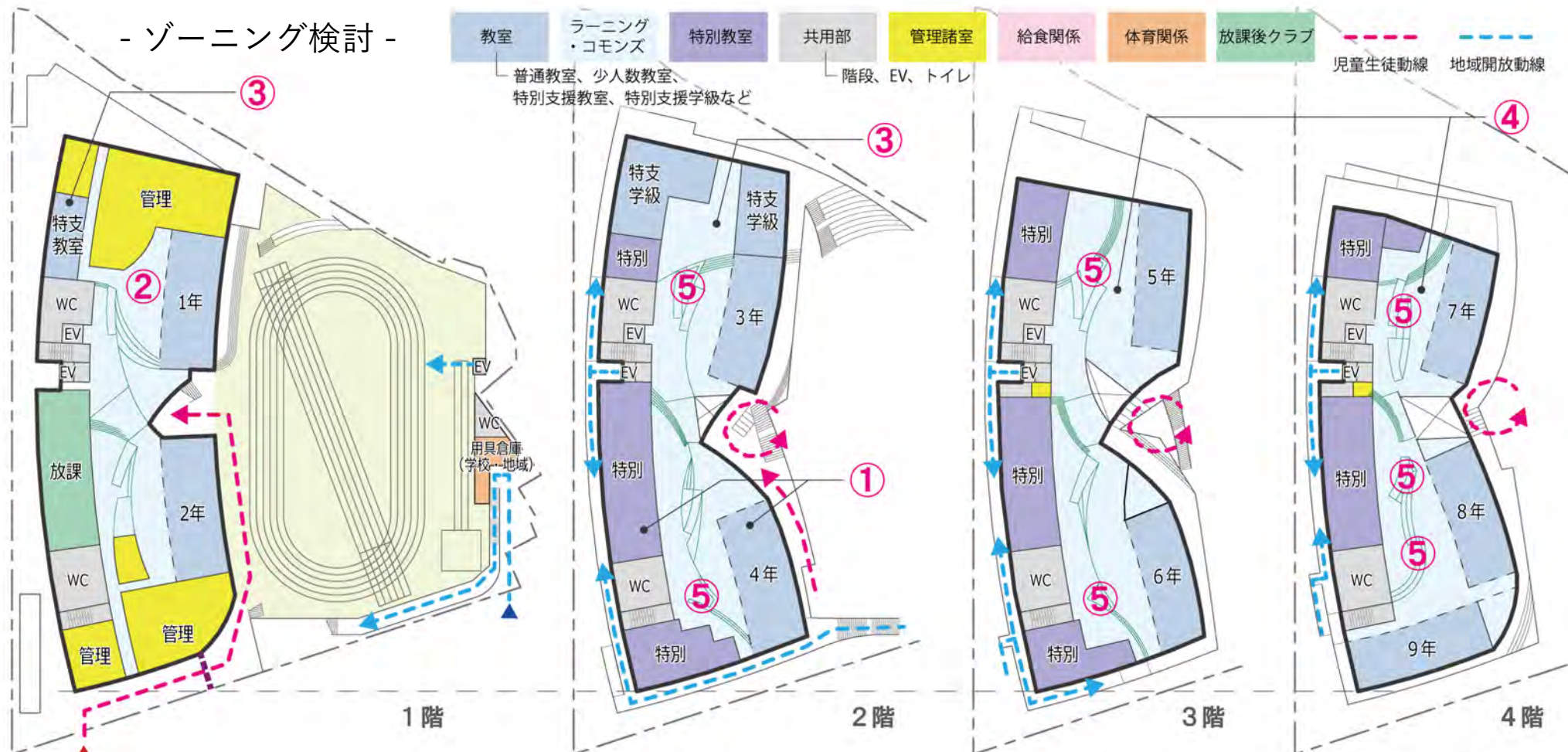
C. 基本計画段階における委員会意見への対応

- 代官山エリアの空間特性 -



【地勢が生む豊かなランドスケープ】

かつて豊かな丘陵地だった代官山の緩やかな道や水路跡。人が歩み進めるにつれその風景がゆっくりと移り変わる空間体験を建物の内外に取り込み、この土地が重ねてきた歴史とつながる地域施設となることを目指します。

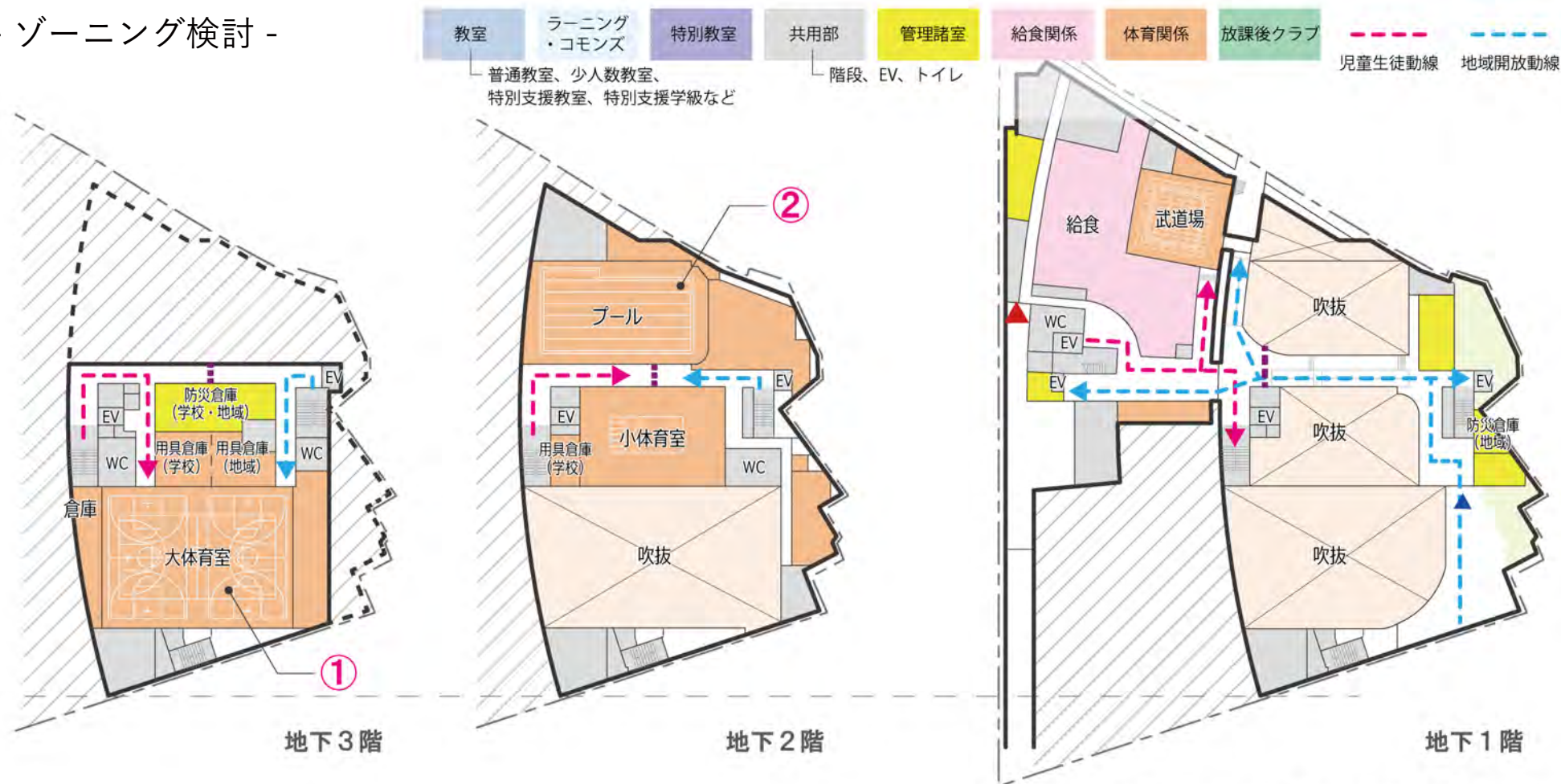


※設計検討中につき、変更の可能性があります。

【校舎棟のゾーニング整理のポイント】

- ①地域開放との明快なセキュリティ計画を実現するため、東側に普通教室、西側に特別教室群を配置します。
- ②児童・生徒の安全を第一に考え、職員室・保健室や低学年を1Fの同一フロアにまとめます。
- ③避難のしやすさにも配慮し、特別支援エリアは1F・2Fの落ち着きのあるエリアにまとめます。
- ④6年生のリーダーシップ意識の向上や、小中の時程の違いに配慮し、小学校フロアと中学校フロアを構成とします。
- ⑤教員の移動負担と児童生徒との距離を縮める教員ステーションを各階に配置します。

- ゾーニング検討 -



※設計検討中につき、変更の可能性があります。

【校舎棟地下・アリーナ棟のゾーニング整理のポイント】

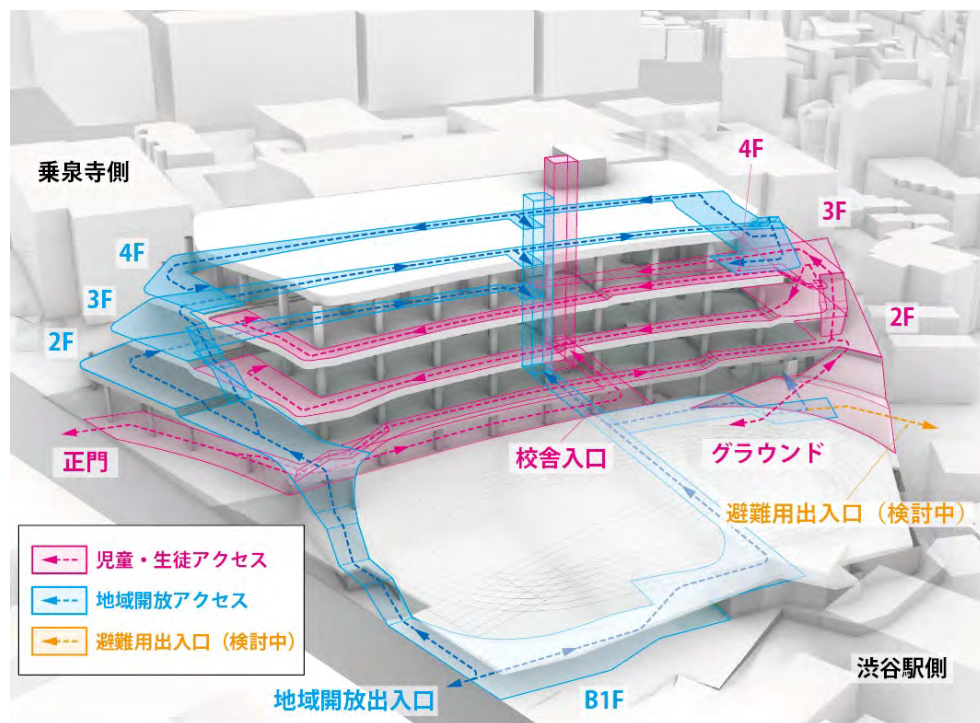
- ① 地域開放・防災拠点となる大体育館（フルバスケットコート1面）を南側（道路側）に配置します。
- ② プライバシーに配慮し、プールを北側（鶯谷児童遊園地側）に配置します。

- 出入り口の考え方 -

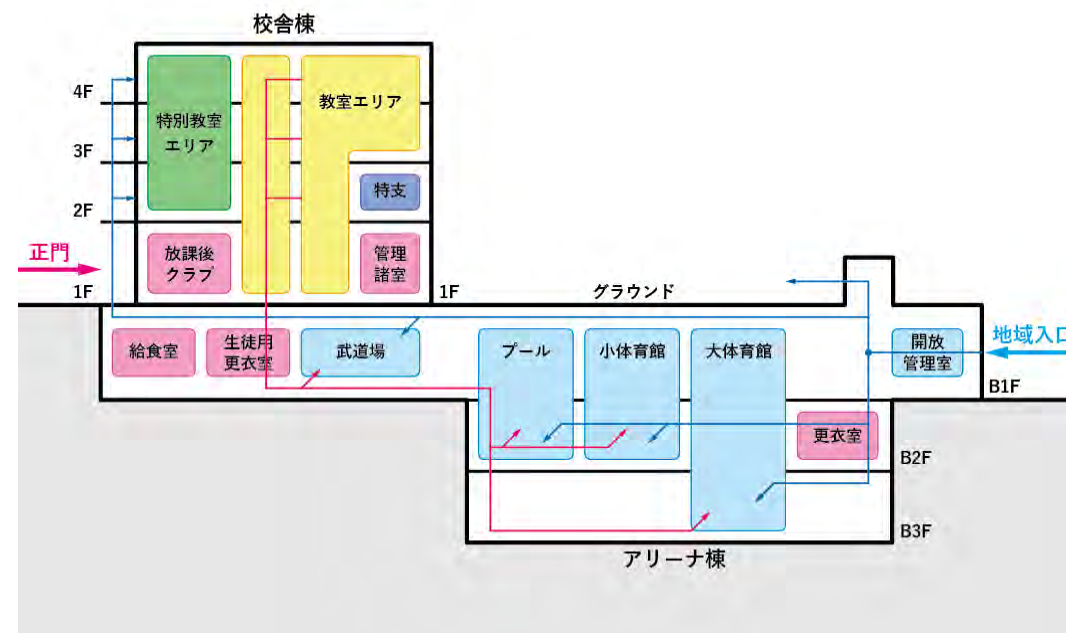


- ・ 既存擁壁を全て造り替え、児童・生徒と地域開放利用者の動線を分離できる計画とします。

- 動線の考え方 -



※イメージ図



※設計検討中につき、変更になる可能性があります。

- ・ 児童・生徒と地域開放利用者の動線を分離できる計画とします。
- ・ 地域開放で特別教室を利用する際は西側（乗泉寺側）のテラスを利用します。

A. 基本方針・コンセプト

B. ゾーニング・セキュリティ計画

C. 基本計画段階における委員会意見への対応

- 前回までの建て替え準備委員会でいただいた主なご意見への対応状況 -

項目	ご意見	対応状況
北側公園への出入口	・災害時利用のために北側公園への出入口を設置してほしい。	・出入口の設置可否について、東京都と協議を行っています。
地域開放用倉庫	・地域開放用倉庫をグラウンドから出し入れしやすい位置に検討してほしい。	・グラウンドから出し入れしやすい位置への設置を検討しています。
運動スペース	・児童・生徒の運動スペースとして、屋上を活用できないか検討してほしい。	・屋上に児童・生徒用の運動スペースを検討しています。
浸水対策	・地下があるため浸水しない工夫をしてほしい。	・建物が浸水しないよう検討しています。
防災備蓄倉庫	・地域の防災備蓄倉庫について、出し入れのしやすさなども踏まえ、配置と大きさなど本町と同様検討してほしい。	・体育館の近辺など、出し入れしやすい場所に配置します。また、必要な容量が収まる大きさを検討しています。
校庭の出入口	・イベント時に大人数の出入りや車両進入があるため、道路から校庭に入ることができる計画としてほしい。	・直接校庭に入ることができるように検討しています。
近隣への音の配慮	・東側近隣へ校庭の活動音が伝達しやすいため、配慮が必要。	・植栽等による防音対策を検討しています。
近隣からの眺望 日当たりへの配慮	・眺望や日当りに配慮した計画をしてほしい。	・既存建物の地面レベルの差を生かしつつ、眺望や日当りに最大限配慮した計画を検討しています。